

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

国語研の窓 第16号 (2003年7月1日発行)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-03-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00001945">https://doi.org/10.15084/00001945</a>

# 国語研の窓

16号

平成15年7月1日 第16号 発行 独立行政法人国立国語研究所  
Independent Administrative Institution : The National Institute for Japanese Language

編集 国立国語研究所普及広報委員会  
「国語研の窓」部会

〒115-8620 東京都北区西が丘3-9-14  
電話 03-3900-3111 FAX 03-3906-3530  
URL <http://www.kokken.go.jp/>



## もくじ

- 暮らしに生きることば 1  
研究室から：第1回「外来語」言い換え提案について 2  
第14回「ことば」フォーラム報告 4  
ことば・社会・世界：東京の多言語表示 5  
ことばQ&A 6  
新刊・お知らせ 6  
刊行物紹介  
「日本語教育ブックレット」 「ことばビデオ」 7  
第16回「ことば」フォーラムのお知らせ 8

## 暮らしに 生きる ことば

### ニックネームの由来

ニックネーム(あだ名、愛称)には、大きく分けて、その人の本名に由来するものと、特徴・個性に由来するものがあります。現在スポーツ界には後者のタイプのニックネームを持つ選手が多くいます。

「ゴジラ」(松井秀喜：野球)、「大魔神」(佐々木主浩：同)、「Qちゃん」(高橋尚子：陸上)、「ヤワラ(ちゃん)」(田村亮子：柔道)、「ゴン」(中山雅史：サッカー)といったところは広く知られ、定着しています。半面、「ウルフ」(高橋由伸：野球)のように一時期話題になったものの、今ではほとんど使われなくなってしまったものもあります。この場合は、「ウルフ」といえば千代の富士(すもう・現九重親方)、というイメージが強かったためかも知れません。

さて「ゴジラ」「大魔神」といったニックネームは本人の力強さ、たくましさ由来するのだろうということはすぐに見当がつきます。しかし、「Qちゃん」はどうでしょう。「オバケのQ太郎」は顔が本

人に特別似てもいないし、足が速くありません。このニックネームは、彼女が宴会で、全身にアルミホイルを巻きつけ「オバQ」の歌に合わせて踊って大ウケした、というエピソードによるものです。

また「ヤワラ(ちゃん)」も本人が十代のころからのニックネームとして有名ですが、これも単純に「柔の道に生きる少女」ということのでついたわけではありません。彼女が頭角を現してきたころちょうど人気があり、テレビアニメや映画にもなった柔道マンガ『YAWARA!』(浦沢直樹・作)のヒロイン猪熊柔(ソウル・バルセロナ両五輪で金メダルを獲得する実力者です)の名にちなんだものなのです。

そして最後の「ゴン」、これが誰のことか知らない人はほとんどいないと思われるほどおなじみのニックネームです。しかし、学生時代の本人が当時バラエティ番組でビートたけしの演じていた「鬼瓦権造」というキャラクターに似ていたため、という由来を知っている人はそう多くないのではないのでしょうか。(文中敬称略)

(新野 直哉)

## 第1回「外来語」言い換え提案について

国立国語研究所では、「外来語」委員会を設置し、公共性の高い場で使われている外来語のうち、一般への定着が不十分で分かりにくいものについて、分かりやすく言い換えたり、説明を付けたりするなど、言葉遣いを工夫する提案を行っています。

本紙では、委員会発足の後と（13号）、第1回の中間発表後に（14号）、「外来語」委員会の設立の趣旨、提案の目的、検討の経過などについて、紹介記事を掲載しています。今回は、去る4月25日、62語を対象に行った、第1回言い換え提案の最終発表の概要を紹介します。

### ●分かりにくい外来語とは

本提案では、分かりにくい外来語を、検討の対象としています。その分かりにくさをとらえる尺度として、国民各層に対して、語ごとの理解度調査を行い、検討対象にする外来語を定めたり、語ごとに対応の姿勢を検討したりする材料としています。

理解度は、その意味を理解している人の比率を4段階に分けて、次のように星印の数で示しました。

- ★☆☆☆ 国民の4人に1人に満たない段階
- ★★☆☆ 国民の2人に1人に満たない段階
- ★★★☆☆ 国民の4人に3人に満たない段階
- ★★★★ 国民の4人に3人を超える段階

このうち、★☆☆☆の語は、最も分かりにくい外来語であり、公的な場面では用いない方が望ましい

と考えられるものです。★★☆☆の語も、現状では、外来語のまま用いることは避けたい語ですが、今後、普及定着に向う可能性のある語も含まれていると思われます。★★★☆☆の語は、定着に向かっている語と思われ、外来語を用いることにさほど問題のない場合も多いでしょう。★★★★の語は、十分に定着しており、外来語を用いることに大きな問題のない語であると考えられます。以上のなかで、★☆☆☆から★★★☆☆までの語を、「分かりにくい外来語」と見なしますが、それらを一律に扱うのではなく、理解度の段階差に応じて、配慮と工夫を行う必要があることを提案しました。

なお、外来語の理解度は、世代によって大きく異なることにも注意が必要です。とりわけ、60歳以上の理解度は、国民全体の理解度よりも、一段階低い語が多く、この世代への配慮が特に必要だと考え、国民全体とは区別して、理解度を示しました。

相手に理解されるかどうかについて、常に留意しながら、分かりにくい外来語への対応を考えていく必要があるわけです。次ページに示した「ケア」の例では、**手引き**の第1項目に、この点への配慮をどのように行うべきかを記しています。

### ●分かりやすい表現のための工夫

分かりにくい外来語を、分かりやすく表現するた

### 外来語の理解度・言い換え語・意味説明の例

理解度 (全体)	理解度 (60歳以上)	外来語	言い換え語	意味説明
★★★★☆	★★☆☆☆	アイドリングストップ	停車時エンジン停止	駐停車の間、車のエンジンを止めること
★☆☆☆☆	★☆☆☆☆	アウトソーシング	外部委託	業務の一部を外部に委託すること
★☆☆☆☆	★☆☆☆☆	アクションプログラム	実行計画	実行に移すための具体的な計画
★★★★☆	★★☆☆☆	アクセス	(1)接続 (2)交通手段 (3)参入	(1)情報に接近し利用すること (2)交通や連絡の便 (3)市場に入り込むこと
★☆☆☆☆	★☆☆☆☆	アジェンダ	検討課題	公式に取り組むべき検討課題
★☆☆☆☆	★☆☆☆☆	アセスメント	影響評価	事業が周囲に与える影響を評価すること
★☆☆☆☆	★☆☆☆☆	アナリスト	分析家	ある専門分野の情勢を分析する人
★☆☆☆☆	★☆☆☆☆	アメニティー	快適環境 快適さ	居住空間における快適さ

## 「外来語」言い換え提案 「ケア」の例

○ ケア 全体 60歳以上  
★★★★ ★★★★★

**言い換え語** 手当て 介護

**用 例** 悩みや不満を表現できない子どもに対し、<sup>手当て</sup> ~~女子~~が必要だと考えている。(新聞)

<sup>介護</sup>  
家庭で~~女子~~できない障害児の医療には、保険は認められない。(新聞)

**意味説明** 放っておくことができないものへの手当て

- 手 引 き**
- ・かなり定着が進んでいる語で、そのまま使って大きな問題はないと思われる。ただし、60歳以上では、分かりにくいと感じる向きもあるので、読み手の中に高齢者が想定される場合や、不特定多数の人を相手にする場合は特に、言い換えや説明付与が必要になる。
  - ・「ケア」の言い換え語は、もっとも基本的な意味を表すものとして「手当て」が有効だが、文脈により言い換え語を変える工夫も効果的である。言い換え語に示した「介護」のほか、医療の分野では「看護」、身だしなみや品物の場合には「手入れ」などが考えられる。
  - ・「ケア」が使用される範囲は広く、便利な言葉ではあるが、意味が広がりすぎること、軽くあいまいな言葉に感じられることもある。正確な伝え合いを求める場合は、特に、注意が必要である。

**その他の言い換え語例** 看護 手入れ

**複合語例** デイケア = 日帰り療養, 通所リハビリ      メンタルヘルスケア = 心の健康づくり

めに留意すべき事柄には、いくつかのことが考えられます。

外来語の長所として、日本語にない新しい概念を取り入れることができるという点があります。しかし、なじみのない外来語をそのまま使うだけでは、意味が理解してもらえず、概念の伝達は不可能です。

そこで、専門的な概念を正しく伝えるためには、外来語を使う場合でも、分かりやすい説明をつける工夫が求められます。例えば、「キャピタルゲイン」という語は、資産の売却や値上がりによる収益を指す経済の専門用語ですが、この概念を一語で過不足なく言い換えることは容易ではありません。そうした場合、外来語を使いつつも分かりやすい説明を付ける方法が考えられます。

また、新しい概念を普及させ定着させるためには、的確な語で言い換えることも効果的です。例えば、治療方法などにつき十分な説明を受けた上で、患者が自らの判断で同意する「インフォームドコンセント」の考え方を普及させることは、現代社会において重要なことだと思われます。この語に関して、本提案では「納得診療」という覚えやすい語で言い換えることにより、患者の納得に基づく医療行為を示す語として、広く普及させることができるのではないかと、考えています。

もちろん、提案する一つの言い換え語で、その外

来語が使われるすべての場合に対応できるわけではありません。特に、意味の広い外来語については、場面によって言い換え語を適切に使い分けることも必要になります。例えば、上に示した「ケア」という語は、放っておけない状態にある人や物に対して手当てをするという意味が基本ですから、言い換え語を一つに絞り込むとすれば、「手当て」などが適当です。ところが、一方で、福祉では「介護」、医療では「看護」、物に対しては「手入れ」などと、より具体的で分かりやすい言い換え語を想定することもでき、それらを使い分けることも大切です。

### ●今後の展開

第1回の言い換え提案の全文は、本研究所ホームページ(<http://www.kokken.go.jp/public/gairaigo/>)で御覧いただけます。この提案がきっかけとなって、多くの人々が、それぞれの立場で、分かりにくい外来語について、分かりやすくなるような表現を工夫していただければ、幸いです。

同じページに、第2回の言い換え提案で取り上げる58語の一覧も公開中です。第2回は中間発表を8月初旬、最終発表を10月下旬に予定しています。その後も、半年に一回、数十語を取り上げて、検討結果を発表していく予定です。御意見を上記ホームページの意見欄からお寄せください。(田中 牧郎)

## 「ビジネスや留学にいきる言葉の力とは？」

3月15日に中目黒GTプラザホールにて、第14回「ことば」フォーラム「ビジネスや留学にいきる言葉の力とは？」が開催されました（後援：目黒区、目黒区教育委員会 協賛：株大修館書店、株アルク、日本語文章能力検定協会、日本言語テスト学会）。当日は小雨模様の天気にもかかわらず、130名の参加者に恵まれました。

### 講演者（講演順）

菅井英明（国立国語研究所）

樺島忠夫（大阪府立大学名誉教授）

西原鈴子（東京女子大学）

李 明姫（新羅大学校／東京学芸大学）

Randy Thrasher（日本言語テスト学会副会長）

杉本明子（国立国語研究所）

豊かな言語生活を送るためには言葉の力が必要であると誰しも思うところですが、その力とは何かを考えようとすると、漠然として手がかりに欠けたものになります。そこでまず、このフォーラムでは、考えるための切り口として、ビジネスや留学という状況を選びました。そして、そこで必要とされている言葉の能力や技術をさまざまな角度から紹介することによって、言葉の力についての具体的なイメージが浮かび上がるのではないかと考えました。

菅井による趣旨説明の後、講演者は、各種の検定やテストから具体例を用いて、それぞれが大切と考える言葉の力について説明しました。

「日本人の文章力」 樺島氏は、日本語文章能力検定を素材に、文芸的なものを書くことは広くたしなまれていても、その他のジャンルのことについて書くのは不得手な人が多いことを紹介しました。書くときは、事実を客観的に伝え、内容を十分に分析し、論理的に書くよう努める必要があると説きました。

「外国人の日本語力」 西原氏は、日本留学試験を素材に、外国人が日本の高等教育機関で勉強するのに必要な日本語力「アカデミック・ジャパニーズ」について説明しました。留学生には、情報の流れを全体的に捉えたり、選択的／批判的に理解したり、情報を分析したりするなどの能力を日本語で発揮できるスキルが必要であると述べました。

「韓国ビジネスマンの日本語力」 李氏は、韓国のビジネスマン向けの日本語能力試験（JPT）を取り上げ、テスト問題の出題傾向を検討しました。そして、実践の場で日本人と円滑に意思疎通を行うことができる日本語力を重視するべき、と述べました。

「日本人の英語力」 Thrasher氏は、米国TOEFL試験の40年の歴史をたどりました。言葉のテストに表れる言葉に対する見方は、その時々外国語教育における見方を反映して変化しているが、留学に本来必要な基礎的な英語力は不変であることを強調していました。

「ヨーロッパの言語テスト」 杉本は、ヨーロッパ各国で行われているさまざまな言語テストの内容を比較して共通の枠組みを決めようというALTE（ヨーロッパの言語テスト実施・研究の共同機関）の取り組みについて紹介しました。



講演の後、参加者からは、身近な疑問でありながら、言葉の力について考えるための大切な手がかりとなる質問が多数寄せられました。そのうちいくつかを紹介すると、「説得力を増すための強調などを、書き言葉や話し言葉でどう出したらよいのか」「日本人ビジネスマンが国際会議の場で積極的に発言できないように見えるがどうしたらよいのか」「言葉の力は、読んだり書いたり特定の分野だけ伸びるのか、それとも全体に伸びるのか」などです。

質問後も協賛機関の配布物に興味深く目を通したり、講演者と意見交換を行ったりと、多くの参加者が会場に残り、まだまだ会場を去るのが名残惜しい雰囲気でした。（菅井 英明）

## 東京の多言語表示

Peter Backhaus

「多言語使用」でまず思い浮かぶのは、インドやスイスなどの2つ以上の大きな言語集団が共生する国でしょう。しかし多言語使用はある程度、どこの国でも起こる現象で、日本もその例外ではありません。東京都内にあふれている多言語表示を見ると、このことが良く分かります。

東京の多言語状況を具体的に把握するために、2003年3月から5月にかけて実態調査を行いました。JR山手線の28駅各々で、一定地域内にあるすべての表示を、その表示に含まれる言語によって分類してみました。



### ●調査の主な結果

結論として次の2点を指摘できます。①多言語表示の割合は、その比率が最も高い東京（48%）から10%以下の高田馬場と、場所によってかなりの差があります。おおよその傾向として言えば、多言語の比率が特に高いのは、ビジネスやショッピングの街（東京、有楽町、原宿など）に多く、それに対して、多言語表示比率の低い場所は、住宅近接地域（高田馬場、目黒、五反田など）に多くなっています。②多言語表示全体（2,482件）に占める外国語の内訳は、英語（94.0%）、中国語（2.4%）、韓国・朝鮮語（1.6%）などと、英語が圧倒的に多くなっています。スペイン語、フランス語、タイ語など他の言語はすべて1%以下です。この様な傾向は、どの調査地点でもほぼ共通していますが、韓国・朝鮮語を含む表示が25%を占める新大久保が唯一興味深い例外です。



### ●誰のための多言語使用？

街の言語風景に影響を与える重要な要因は、言語選択に潜む動機です。東京外語大の井上史雄先生の表現を借りれば、言語には「知的」と「情的」な価値があります。言語の知的価値というのは、その言語のコミュニケーション手段としての価値です。外

国語を含む表示が存在するひとつの理由は、言うまでもなく日本語の分からない人々とのコミュニケーション手段としてです。しかし東京都の外国人人口の割合が3%以下という現実に対して、調査結果が示した多言語表示の割合（平均24%）はかなり高いものと言わざるを得ません。その理由は、日本語のできない人々のためというよりも、日本人を意識した多言語表示もあるからだという気がします。

多言語表示の例を具体的に見ると、例えば「営業中」より「OPEN」、



「いらっしゃいませ」より「WELCOME」、

「引く」より「PULL」のような英語だけの表示がたくさん挙げられますが、どうして日本語の訳がないのでしょうか。それは、ことばが単なるコミュニケーションの手段としてだけでなく、それ以上の情的価値を持つからです。そうでなければ、英語の圧倒的な使用の高さは説明できません。表示に英語が多用される訳は、分からない日本人がいることを気にせず、知的より情的なことばの価値を優先させた言語選択の結果でしょう。言い換えれば、まったく意味不明のことばにこそ、それなりに価値があるとと言えるのかも知れません。

### ●表示が伝える多言語使用の発展

街の表示を見ていると、東京の新しく発展する多言語使用の状況が分かります。例えば、日本語だけで書かれた古いタイプの街区表示板と英語が併記された最近のバージョン、また、信号機で「歩行者用押ボタン」とだけ書かれた古いものと、「To cross street at night push button」が併記された新しいバージョン等の例があります。どちらも、新しい方が古い方より使用言語の数が多という基本的な傾向があります。このことから、東京の多言語使用は減少するのではなく、これからますます増えていくことを仮定しても良いでしょう。このように、ことばの知的側面と情的側面が絡みあい、街の言語風景が東京の新しい多言語使用を語っています。



ペーター・バックハウスさん（ドイツ・デュースブルク大学、DFGプロジェクト研究員）は、2003年2～6月、本研究所に滞在し、「日本における多言語主義」に関する研究を行いました。（メールアドレス：backhaus@hotmail.com）

## ことばQ&A

**質問** 「携帯」と「酎ハイ」は片仮名では、なぜ「ケイタイ」と「チュウハイ」ではなく、「ケータイ」と「チューハイ」と書くのですか？

**回答** この問題は、漢字音の書き方と実際の発音のずれから生じたものです。

もともと古代の日本語の音には、チュウハイのチュウのような複雑な音も、ケイタイのケイ[kei]のように母音が二つ並ぶこともありませんでした。しかし、漢字とともに古代の中国語の発音が輸入されて、それが日本語のなかで使われていくうちに、この種の音が次第に日本語の音として定着していくことになりました。

「酎ハイ」の「酎」の発音は、もともとチウであり、平安・鎌倉時代にはチ・ウ[ti・u]と割って発音していたと考えられています。現代語と同じチューに変化するの、室町時代以降です。しかし、近代にいたるまで歴史的仮名遣いが使われていたため、その後、長らく仮名で書くときはチウなのに、実際の発音はチュー[tʃu:]であるという時期がつづくことになりました。

仮名による書き方が発音に近いチュウになるのは、昭和21年9月に国語審議会が「現代かなづかい」を答申・発表してからです。ところがこの時点でも、

仮名の書き方と発音が一致していたわけではなく、チュウと書きながら、実際の発音はチュー[tʃu:]が標準的というずれが現在までつづいているのです。つまり、チュウハイは仮名遣いとしては正しいが、実際の発音はチューハイの方が近いということになります。

同じことはケイタイとケータイにもいえます。「携帯」の「携」の音の仮名による書き方は、今も昔もケイです。室町時代ぐらいまではケイ[kei]とイも発音されていましたが、江戸時代後期になると江戸でも京・大阪でもケー[ke:]のようにエを長めて発音されるようになり、それが現在までつづいているのです。それでも明治・大正時代までは、まだ上層の人々や知識人はケイと発音する傾向がありましたが、現在ではケーの方が標準的です。このため、ケイと表記しながら、実際の発音はケー[ke:]であるというずれが現在までつづいているのです。つまり、ケイタイは仮名遣いとしては正しいが、実際の発音はケータイの方が近いということになります。

現在、チューハイやケータイという書き方が多く使われるのは、片仮名では長音符「ー」が使えるため発音に近く表記できることと、その方がユーモラスな感じやしゃれた感じが出るからでしょう。

(伊藤 雅光)

## 新 刊

- 1 日本語教育映像教材 初級編  
『日本語でだいじょうぶー語彙・文型表ー』  
2003年3月／日本シネセル株式会社／  
B5判横組み267ページ／本体 3000円
- 2 日本語教育ブックレット 3・4  
『日本語教師のための対照研究入門』  
2003年3月／B5判横組み64ページ  
『第二言語習得の心理学的研究方法』  
2003年3月／B5判横組み68ページ  
1冊、実費500円にて配布
- 3 『日本語科学13』  
2003年4月／国書刊行会／B5判横組み  
140ページ／本体3000円
- 4 『学校の中の敬語2ー面接調査編ー』  
(国立国語研究所報告120)  
2003年6月／三省堂／B5判横組み  
249ページ／本体11000円

## お知らせ

NHKラジオ第2放送の「NHKアナウンサーの はなす きく よむ」の「こちら国語研究所」(第5日曜日のみ)では、本研究所員が言葉の様々なトピックについて解説しています。

放 送：日曜日／午後6:20～6:35  
再放送：水曜日(火曜深夜)／午前1:20～1:35  
再放送：翌週日曜／午前7:10～7:25

6月29日(再放送7月2日・6日)  
「ことばに『文法』を見る」(井上 優)  
11月30日(再放送12月3日・7日)  
「日本の方言紀行」(大西 拓一郎)  
2月29日(再放送3月3日・7日)  
「外国人と日本語で話す」(小河原 義朗)

## 刊 行 物 紹 介

日本語教育ブックレット3 『日本語教師のための対照研究入門』

日本語教育ブックレット4 『第二言語習得の心理学的研究方法』（ともに2003年3月刊行）

日本語教育部門でおこなっている「日本語教育短期研修」の成果をわかりやすくまとめた冊子の最新刊です。日本語や日本語教育についてさまざまな角度から考えるための材料としてご利用いただけます。

本ブックレットは各500円で配布します。入手ご希望の方は、日本語教育研修事務局（TEL: 03-5993-7667, FAX: 03-3900-6559, E-mail: booklet@kokken.go.jp）までご連絡ください。（ブックレット1『多言語環境にある子どもの言語能力の評価』、ブックレット2『日本語教材と著作権』も若干の残部があります。）

（井上 優）



日本語教師のための対照研究入門

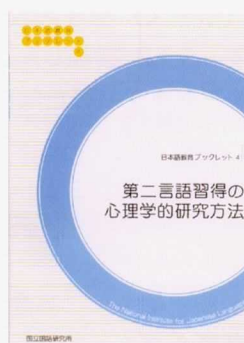
序 章 対照研究は役に立つのか

第1章 対照研究とは何か

第2章 対照研究のいろいろ

第3章 対照研究の役割と意義

対照研究関連文献



第二言語習得の心理学的研究方法  
はじめに（杉本 明子）

I. 言語獲得の研究法論－実験的手法－（内田 伸子）

II. 第二言語習得と心理的要因の研究法－質問紙法－（杉本 明子）

III. 第二言語習得研究方法としてのエスノグラフィーの手法－その可能性と限界－（柴山 真琴）

IV. 質問

V. 語句説明

VI. 読書案内

VII. 事項索引

「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 2

『コミュニケーションの「丁寧さ」／「ほめる」というはたらきかけ』（VHS 45分／対象は中学生以上）

このビデオでは、言葉の形式だけにとどまらない「丁寧さ」、相手の良い面について肯定的に述べる行動という2つのテーマについて、様々な視点から考えています。

「ことばビデオ」シリーズは、各都道府県の教育委員会を通じて、地域の視聴覚ライブラリー等に配布されています。購入をご希望の際は、国立国語研究所（03-3900-3111）までお問い合わせください。

なお、平成15年度のテーマは「方言」を予定しています。

（熊谷 智子・大西 拓一郎）



コミュニケーションの「丁寧さ」

第1話 どんなときに丁寧な言葉を使いますか？

第2話 同じ相手でも言葉づかいが変わるとき

第3話 同じことでも相手しだい

第4話 わかりやすさも丁寧さ

第5話 見えない相手、大勢の相手へのコミュニケーション

第6話 言葉だけではない丁寧さ

「ほめる」というはたらきかけ

第1話 「ほめる」とは？

第2話 ほめる人、ほめられる人

第3話 ほめられることで気持ちが変わる

第4話 「ほめる」に代わる言葉は？



## 第16回「ことば」フォーラムのお知らせ

テーマ：「効果的なコミュニケーションー 間やリズムを上手に使おうー」

日時：9月27日（土）14:00～16:30

会場：広島国際大学 国際教育センター 3階セミナー室  
広島市中区鞆町1-5（JR広島駅南口 徒歩10分）

共催：国立国語研究所，広島国際大学 言語・コミュニケーション学科

内容：コミュニケーションを行う場合には、伝えようとする内容をうまく言葉にすることが重要です。しかし、それだけでは必ずしも効果的なコミュニケーションが成立するわけではありません。言葉の周辺を形作っている間（ポーズ）やリズムなど「周辺言語（パラ言語）」を上手に利用することも大切なのです。このフォーラムに参加し、パラ言語の役割や実態、それをうまく使いこなすための方法を学び、コミュニケーションの新たな可能性を一緒に探ってみませんか。

### プログラム

理論編：パラ言語の役割とは？ 高倉 章男（広島国際大学）

まず、パラ言語の種類やコミュニケーションにおける役割について概観します。次に日本語と英語の持つリズムの特性を比較しながら、間の果たす役割や間に含まれる非言語の効果や解釈について具体的に考えてみましょう。

分析編：パラ言語を調べてみよう 小磯 花絵（国立国語研究所）

私たちは普段どのような話し方をしているのでしょうか。講演場面の音声を取り上げ、間の取り方や声の高さなどに着目しながら、日常の話しことばにおけるパラ言語の実態を具体的に調べてみましょう。

実践編：パラ言語で意図・心情をうまく伝えるために 久次 弘子（広島国際大学）

日常生活の様々なコミュニケーション場面からビジネス現場を取り上げ、指示・命令とそれに対する復唱・報告・説明またお詫びなどの話し方に、パラ言語がどのような影響を及ぼしているか、ロールプレイングを通して実演してみましょう。



申し込み先：

〒115-8620 東京都北区西が丘3-9-14

国立国語研究所

第16回「ことば」フォーラム係

電子メール：forum@kokken.go.jp

FAX：03-5993-7663

問い合わせ先：電話 03-3900-3111（代表）